クリスマスイブ

中野劇団

クリスマスイブ

作・中野　守（中野劇団）

登場人物
客
店員

クリスマスソングが流れるレストラン。
二人席に男が一人座っている。周りの席も客で埋まっている。男はまるで向かいの席に女性が座っているかのような素振りをしている。男、ナイフとフォークを使って料理を食べている演技。

男　ん？　美味しい？　うん。これ、凄いね口の中で溶けた。……うん、一年前に予約した。

男、「女の口の横にご飯粒ついてるよ」の身振り。女がご飯粒取ったタイミングで微笑む。

男　……（イブに店の予約とかって）したことないよぉ。初めて。イブに栗山さんと一緒に来たいなって思って。

女の声が小さいらいく、男、「ん？」って風に耳を近づける。

男　……そう言ってくれると俺も。うん。……よかった。

男、横を向く。夜景が見えるらしい。

男　すっごいよね。ね。俺ずっと球体だと思ってたんだけど、円柱型だったんだね、マルビルって。（女が咽せたらしく）あ、大丈夫？　お水。あ、何かおかわり頼む？　大丈夫？　……え？　何？

女、プレゼントを出してきたらしい。

男　え？　俺に？　マジで？　うわ、ありがと。（異様にでかい箱を受け取る）開けていい？（箱の包装を解く）えー、何かな？

男、箱の中身を見る。驚く。女を見る。箱を見る。女を見る。

男　おおおおおお。ええええ？　これ欲しかった奴。うわあ、ありがとう。おお。……うわ、早速明日これで食パン焼くよ。……あ、じゃあ俺も。はい。

男、プレゼントを出す。BGM、FO。

男　あ、ごめん、ポケットに入れてたから。……うん。あ、家帰ってから？　あ、うん。楽しみにしてて。……今？　開けて開けて開けて。

男、女が包装を開けるところをじっと見ている。女開けたらしい。女が何か話している。

男　……うん。はめてみて。

はまらない。どうしてもはまらない。

男　あ、うん。大丈夫。交換して来るから。……栗山さん、この後って時間大丈夫？
いやあの、よかったらね、この後ちょっとブラブラしないかなって思って。

店員、男の横に来る。

店員　あの、お客様、お客様。

男　はい？

店員　お楽しみ中の所すみませんー、他のお客様が不安がっておられますのでぇ、店内での独り言はお控え頂きたいんですけどぉ。

男　……え？

店員　他のお客様が不安がっておられますのでぇ。お控えいただきたいんですがぁ。

男　何をですか？

店員　ですからあのぉ、独り言をー。他のお客様、楽しんでらっしゃるのでぇ。

男　独り言ですけど。独り言禁止とかってルールがあるの？

店員　いえ、そういうのはないんですけどぉ。ずっといない人に向かって話しかけられてるみたいでしたので。

男　いえ、純粋に独り言ですけど。

店員　ちょっとご配慮願えたらと思いましてぇ。

男　はあ。

店員　申し訳ございませんー。

店員、去る。

男　「イブなんだから大目に見てくれてもいいのに」「ホントにね」「ごめんね、嫌な思いさせて。気ぃ、悪くした？」「ううん、全然大丈夫。でもあの店員さん、きっと出世しないよね」「だよね」。

店員、男の席にやって来る。

店員　お客様ぁ？

男　はい？

店員　大変申し上げにくいんですがぁ……。

男　……一応相手がいるって体で喋ってたんですけど。さっきちょっと見せ方が甘かったから、わかりづらかったのかなって思って今度は相手の台詞も入れてみたんですけど。

店員　ああ……。でも他のお客様にちょっと迷惑になっておりますのでぇ。

男　そんなに声大きかった？

店員　えっと。

男　向こうのさあ、向こうの人と同じくらいの声だけど？

店員　いやあ、あちらのお客様は会話ですのでぇ。

男　……え？　誰が言ってきてるんですか？

店員　いえぇ、誰がというわけではなくて。

男　今日、イブなんですけど。

店員　ええまあ、そうなんですがぁ。……あと、席、元の場所（テーブルの横）に戻していただけますか。こちら（客席側）壁ですのでぇ。すいませんがお願いします。

店員、去る。

男　どうしていつもこうなってしまうんだろう。二〇〇九年のクリスマスイブ。やっぱり僕は冴えない人生を送っていた。美味しいご飯、そして夜景が見えるレストラン。ロケーションは最高なんだけど、僕の気持ちは一向に晴れない。そう、栗山さんなんて実在しないのだ。僕は……。

店員、男の席にやって来る。

店員　お客様モノローグ中大変申し訳ないんですがぁ。

男　はい？

店員　他のお客様のご迷惑になりますのでぇ。

男　僕ね、今モノローグ中に栗山さんがいないこと説明したじゃないですか。栗山さ

んいるんじゃないかなって思ってた人の不安は取り除いたつもりなんですけど。

店員　申し訳ありませんが、独り言の方を差し控えていただきたいんですがぁ。

男　（立って店内を見回し）誰が言って来てるんですか？

店員　誰がというわけではなくて。

男　お一人様は喋るなと？

店員　いえ、そういうわけじゃないんですけどぉ。

男　そういうわけじゃないって、そう言ってるよ？　お一人様は喋った時点で独り言になるよ？　え？　お一人様がイブ満喫しちゃいけないの？

店員　いえ、決してそのようなことはないんですがぁ。ちょっと独り言はお控えいただけますか。お願いします。

店員、去る。

男　……。ふう。

男、席を立ち、舞台の端へ。レジでお金を払う仕草。

男　あ、三円あります。

退場。男、戻って来る。

男　ただいま……。

男、テーブルを横によける。

男　何やねん、あの店員。あーもう腹立つなあ。イブやん。ええやん。ブログに店のこと書いたろかな。

男、自分の部屋で冷蔵庫を開けてビールを取り出すゼスチュア。
店員、男の席にやって来る。

店員　お客様！

男　はい。

終わり。